

# 翻 訳

アルギュラ・フォン・グルムバッハによる宗教改革的文書(3)  
—アルギュラ・フォン・グルムバッハ稿「ランツフートのヨハネス：非難と返答<sup>1)</sup>」の翻訳—

伊勢田 奈 緒

## 1. 緒言

ここに翻訳したものは、ルターの信奉者でプロテスタントの女性宗教改革者アルギュラ・フォン・グルムバッハによる著作のうち唯一、詩の形式のものである。尚、この詩を刊行した後、彼女は執筆活動を止めていることから彼女の一連のパンフレットの集大成とも言える作品でもある。ここでは、アルギュラの活動を非難する匿名者による挑戦文とそれに対する彼女の返答を翻訳した。1523年にインゴルシュタット大学で起こったアルザシウス・ゼーホーフアの事件でこの青年を弁護するために勇敢に立ち上がったアルギュラは、インゴルシュタット大学やヴィルヘルム公、インゴルシュタット議会などに公開状を送った。これに対して当のインゴルシュタット大学は、女になど返事をする必要はない、と高をくくっていたようである。また、その他、ヴィルヘルム公などからも返答がなかった。ところが、インゴルシュタット大学の学生でランツフー

トのヨハネスとだけ名乗る者が、詩の形で彼女に応答してきた。それに対して彼女もまた、詩の形で返答した。アルギュラの詩は556連あって、ランツフートのヨハネスのものよりも断然長いものとなっている。彼女の詩は、議論的ではなく、また、口汚い攻撃もなく、彼女に浴びせられてきた非難に対して、彼女は聖書に基づいて、適切に返答している点、ヨハネスのものより勝っていると言えよう。尚、アルギュラの詩（「ランツフートのヨハネスへの返答」）は、「ランツフートのヨハネス」の著作とともに、ニュルンベルクのヒエロニムス・ヘルツェルより、1524年の秋に、発行された。

## 2. 翻訳：ランツフートのヨハネス：非難と返答

### (1) ランツフートのヨハネスによる非難

シュタウフェンの女性の言葉と彼女の論争

アルゲル夫人—Argは「したたかな」は、あなたの名前<sup>2)</sup>論争好きで、恥のかけらもない。女性らしい心遣いに無頓着で、凶々しく、遠慮をしない。

あなたは貴族達や君主たちに教えたいのです。珍奇な信仰とそして、彼らを脱帽させるために。

あなたはまさに大胆にも大学に対して受けて立とうとしています！

あなたは百個の継ぎ接ぎの一枚のキルトのように互いに合うものがないような、聖書からのどうしようもない大間抜けな引用

<sup>2)</sup> 原文は、'Fraw Argel arg ist ewer nam/vil ärger' となっている。

<sup>1)</sup> Eyn Antwort in//gedichtß weiß/ ainem d(er)//hohen Schl zu Jngol//stat/auff ainen spruch/ // newlich vo(n) jm auß //ga(n)gen/ welcher// hynde(n) dabey// getruckt // steet.// Anno. M.D.XXiii.// Rom(er).x.// So mann von hertzen glawbt/ wirt// man rechtuertig/ so man aber mit de(m)//mundt bekennet/wirt mann selig.// Argula von Grumbach/ //geboren von Stauff.// (Eyn Spruch von der// Stauferin/ jres Dispu>//tierens halben.//) (Nürnberg:Hieronymus Hölzel 1524) 14 Bl.,4.  
尚、翻訳にあたって以下を参考にした。

Matheson, Peter, Argula von Grumbach. A Woman's Voice in the Reformation, Edinburgh 1995, pp.131-154

Matheson, Peter(ed.), Arugula von Grumbach: Shriften, Heidelberg, 2010, pp.160-195

をしては、ばからしく非難しています。しかも、あなたの引用した多くは間違っているのです。

それは、「テモテへの手紙」1章<sup>3)</sup>からあなたが聖パウロを巧く引用していないように。これは、あなたが、大麦の替わりにカラスマギを私たちに売っているようなものです。あなたはパウロのこのテキストから証明することが出来ないのです。

パウロの言う「女性は静かにしているべきだ」という教えは、すべてのことに及んでいます。つまり、それは実際、パウロが教えを説く際、女性たちを除外するというのは、彼が、夫が妻をリードすることや規律ある服従の中に恥じらいや畏敬の念がもてることを主張しているからです。

なぜなら、最初に罪を犯したのが、アダムではなく、エバであるからです。

そのページをめくってみなさい。それは、5章<sup>4)</sup>の真中近くに書かれており、妻達は議論すべきでも、決闘すべきでもなく、家において、家庭の中をおさめ、そして、教会にあっては静かにしておくべきだということです。

今、預言者シビルよ、考えてみなさい。あなたは無謀で図々しい。

それなのに、あなたは、自分では非常に頭がよいので、聖書を大胆に解釈していると思っています。

千年前、テキストを十分読みこなし、内容を十分知っている、神の友である多くの聖人達がこのことを明らかにしなかった。だから今、人々がそうすることを必要としていると、あなたは言います。

聖人達はあらゆる問題についての調和を良いものとしますが、他方、異端者たちは議論を良しとするのです。

3) これは、「テモテへの手紙Ⅰ」2章12節「婦人が教えたり、男の上に立ったりするのを、私は赦しません。むしろ、静かにしているべきです。」の箇所であろう。

4) 該当箇所は「テモテへの手紙Ⅰ」5章14節「だから、わたしが望むのは若いやもめは再婚し、子どもを産み、家事を取り仕切り、反対者に悪口の機会を一切与えないことです。」と見られる。

あなたの崇拝者マルティン・ルターは背教者、背教の兄弟であり、あらゆるほかの人と戦うのに疲れ、最近、彼は矛盾したことを言います。

というのは、今日、彼を満足させたことは、明日は退けられることになるからです。

しかし、あなたは黙ったままのおとなしい盲目の悪魔でいられません。

あなたにとって、彼の言葉は、純粋な福音なのです。

ルターとフィリップ・メランヒトンは北斗七星における二大スターであり、真っ黒な石炭のように輝き続けています。

聖書を彼らの公然の目標に作り替え、神の聖なる言葉はめちやくちやになります。

いったい、なぜ、あなたはそのような異端者が教えることを

神の栄誉と神が語ることと同一視するほど、愚かなのでしょうか？

まったく、あなたはどこで、そういった考えを得るのでしょうか？

あなたはバラティン<sup>5)</sup>様からと・・・言います。私たちの信仰が危うくなったとき、この大いなるまやかしのために、うそであなたの口を圧倒し、

そして、他の者を一おそらく、フリードリヒ賢明公でありますが一さらに墮落させ、あなたが上記のように即答したとしたら、そのとたん、私は大声で笑わざるをえません。

しかし、これは不思議なことでもなんでもありません！

次のような賢明なことわざがあります。：賢いばかりは始末に負えない！

しかし、思うに、子が他の名を持っていることに適切に責任を負うべきです。

すなわち、あなたがた自身、ずっと、守ってきた秘密のことです。

私はルターの教えにあなたが心から喜んで教えることを知っています。

というのは、彼はあなたがた女性に、姦通や好色、そして図々しく粗野な不義の門を

5) Spalatin, Georg (1484-1545) のこと。フリードリヒ賢明公の秘書となりヴィッテンベルクに派遣されルターの協力者となった。

開いているからです。

思いやりのない言葉、あるいは、少しぞんざいなやり方によって、あなたがたから男性は逃げ去ります。

私は、マルティン・ルターに従う、女性達は貞操を守れず、不誠実であると誓って言えます。

パウロが示すように、すべてが私にはあやしく思えます。すなわち、罪によって打ちのめされた多くの女性達<sup>6)</sup>が、誤った教えによって、惑わされたことを

パウロははっきりと教えているからです。

そして、あなたについて、私は聞きました。その修道士<sup>7)</sup>はあなたを捉え、そして、彼の教えはあなたに取り付いたのです。

巻き毛のアルサシウスに対してあなたが惜しみなく同情して弁明しているのは

あなたが発情しているからではありませんか？この十八歳の奴のために？

嫌悪され、嘲笑的される代わりに、あなたがこの事件に責任を取る理由はあるのですか？いいですか、私の古い友である、アルギュ、あなたは本当に変わり者だが、あなたは聖書からの言葉を用いて、私達を驚かせるつもりなのでしょう。

すなわち、あなたのおこしな恥を隠すため、それが無知なことであろうとも、話されたことを何でも信じてしまうだろう一般人をだまそうとしているのです。

私には、最も恐ろしい夢のように思えます。あなたは、聖書をあなた好みにゆがめているようです。

親愛なるおばさん、あなたは本当に狂っているのではないのでしょうか？

あなたは、私達が以前に聖書を決して読んだことがないと本気で思っているのでしょうか？それで、だれもあなたの習得なされた驚異の知識に抵抗することが出来ないとも言うの

6) これは「テモテの信徒への手紙Ⅱ」3章6節「彼らの中には、他人の家に入り込み、愚かな女どもをたぶらかしている者がいるのです。彼女たちは罪に満ち、さまざま情欲に駆り立てられており、いつも学んでいながら、決して真理の認識に達することができません。」を念頭に入れて記していると考えられる。

7) 修道士とはマルティン・ルターのことである。

でしょうか？

あなたは、あまりに横柄で勝手放題で、まるであなたこそが、聖書を全部鵜呑みにしたようではありませんか。

あなたは聖書の事柄に、子供であるけれども、たとえ、その風がゆらゆらしようと、掴もうとしているのでしょうか。

アキロン<sup>8)</sup>から、一陣の強風が吹いているところです。

うわさからあなたの名誉を守るために、あなたのプライドとあなたのむなしい意見を捨てなさい。

そして、代わりにあなたのスピンドル<sup>9)</sup>を巻き取りなさい。

ふち飾りをしなさい。さもなければ、ボンネットを編みなさい。

女性の立場で見せびらかすのはやめなさい。神の言葉やあるいは説教者とともに、女性は、マグダラのマリアのように耳を傾ければよいのです。

女よ、私はあなたに良い助言をしましょう。もし私がわからないのでしたら、次のことで十分です。

すなわち、私のことを人はヨハネスと呼び、インゴルシュタットで私は自由な学生であり、ランツフートの町出身の市民の息子です。この学生を落ち着かせて下さい。

なせなら、もしこの話題に対して、再び、あなたが立ち向かってくるのであれば、あなたのすべての異端の友たちと同様に、あなたは死ぬことになるでしょう。

## (2) ランツフートのヨハネスへの返答

インゴルシュタット大学のある学生から寄せられた詩の形式からなる応答に対する詩の形式での返答。

主の年、1524年

「ローマの信徒への手紙」 10章

もし心で信じるなら、その人は義とされる。しかし、もし唇で告白するなら、その人は救

8) 北から、という意味。(すなわち、ヴィッテンベルクから)

9) 剣が男性の役割のシンボルのように、スピンドル(紡績機の糸を巻き取る軸(紡錘)を指す)は女性の役割のシンボルだった。

われる。

アルギュラ・フォン・グルムバッハ 旧姓フォン・シュタウフ

神の御名において、名がヨハネスという大胆な方に今、返答します。

すなわち、要求している彼はランツフト出身ということが私が彼についてわかることです。

気をつけなくては！実はそれは明らかに事実ではないのです。少しも。

このインゴルシュタット出身という自由学生は、彼が自由に話すほどには自由ではなく、飾り立てられた言葉で彼の名前を隠しているのです。

キリストは私達に、率直に自由に、悪人達は、彼らが誰であれ、

常に日の光を憎むのだと警告します。

それで、私はあなたにこのように話さなければならぬのでしょうか？

というのは、数え切れないキリスト者がこの名前<sup>10)</sup>をもっています。

私の友よ、あなたの恥を捨て、祈りなさい。

そして、もしあなたが、正直なキリスト者であれば、

インゴルシュタットにあなたが公然としていることを見せなさい。

私が誤っていたら、私に説明するのに、あなたの好きな日を選びなさい。

もしあなたが神の言葉を示すのなら、

私は、一人の従順な子供のように、あなたに同意して従いましょう。

一人のキリスト者として、私の誤りを正直に示してください。

三週間先であれ四週間先であれ、どんな条件でも示してください。

そうすれば、私への議論を他の人が参加し聞くことができます。

あなたに会って、ぜひ、私の主、神について話しあいたいです。

私は決して何も恐れることはない、キリストは私にはっきりと保証しているからです。

たとえ、直ちに召喚されたとしても・・・です。御父は私達に何を話すかを教えてくださいませぬ。

御父は聖霊を私達の口に入れ、そして、私達に

「あなたがたが話さなければならぬのではない。」と話します。

故に、この約束が私の心を踊らせるのです。私は学んでいる本を持っていませんが、私は恐れませぬ、少しも恐れませぬ！

偶像を造り、—それがあなたのスタイルであります—が—今、あなたが汚している神の偉大なる御名を誉め称えるために、私は不平を言わずにあなたに会いたいです。

私は弱さの中にありますが、神は神の栄光のために、私を強めてくださいます。

キリストが次の「マタイによる福音書」10章にあるように命じている。

すなわち、体は殺しても魂を殺すことができないすべての者を恐れないうに。

むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことができる方を恐れなさいと・・・。

もし、神の霊がその中にお住まいにならないなら、私たちの体は決して完成することはできません。

この約束は「ヨエル書」2章に見られます。あなたは、男も女も、そこで除外される者はいない、ことを見いだすでしょう。

なぜなら、神はその聖霊をすべての者に注がれるからです。

神の霊を呼ぶことができ、唯一理解している、とされている狭い聖職者席の剃髪した修道士だけが聖霊を入れられるということではないのです。

いいえ、神はさまざまな調子で歌います。

すなわち、あなたの息子や娘や僕や女中は預言するでしょう。

そして聖書を直接に読み、神から聖書が意味することを学びたいのです。

主の日、大いなる恐るべき日が来る前に、年取った人々は新しい夢を見、天と地は不思議な外国について語るのです。

「ヨハネの福音書」の7章<sup>11)</sup>の教えを調べ、

<sup>10)</sup> ヨハネスという名前はキリスト者に多い名前だということであろう。

<sup>11)</sup> 「ヨハネによる福音書」7章37～39節参照。

読みなさい

大声で、我等の主、キリストは言われました。

「さあ、渴いている者は誰でも、わたしのところへ来なさい！

私を信じる者は、その人の内から生きた水が自由に流れ出るようになる。」と。

聖霊の便りを彼は私たちひとりひとりに説き明かしました。

もし、願わくは、神の言葉に立って、どうか、このすべてを説明してください。

農夫もしくは女性はここを締め出されるのでしょうか？

どうか、私に話した場所を示してください。だれが使徒だったのでしょうか・・・つまり、彼らが高い学問を学んでいたことを思い出すことができますか？

ヨハネは漁師でしたし、漁師には誰も学問に深いものはいませんでした。

そして、ペトロはご存じのように、同様に、漁師でした。

そして、さらに、パウロが示しているように、神は、貧しく、弱い状態にある私達を助けるために聖霊を送られました。

それは「ローマの信徒への手紙」8章<sup>12)</sup>にあります。

聖霊がその方法を示さなければ、私達はどう祈るべきか、わかりません。

私達を真理に導く聖霊に、キリスト者はみな、聞くべきです。

一度、あなたが「コリントの信徒への手紙Ⅰ」を適切に読めば、あなたは理解するでしょう。2章<sup>13)</sup>でパウロは神の良い魂は私達全てに、一切のことを、神の深みさえも究めるとして

います。だれも私達の中に潜んでいるものを知りませんが、聖霊は私達の中であって、働くのです。死すべき人間は表されることもなく、神の中にある事柄は隠れます。

神の霊のみが一パウロが称賛していますがー御言葉を通して、私達全てを導きます。

私達は受け取った聖霊以外の世の霊では進め

ませんでした。むしろ、神が送られた聖霊で私達は進めるのです。

聖霊は私たちに、神の恵みによって私達が得てきたものは何かをはっきりと説明するのです。

3章<sup>14)</sup>では、私達は主の神殿と名づけられ、「神の霊はあなたがたの内にある」と宣言されています。

いったい、本当に女性は締め出されるのでしょうか？

「コリントの信徒への手紙Ⅱ」3章で、パウロは私達の人間性を示し、

もし私達の中に霊が住んでいなければ、律法の文字によって殺されるとしています。

この章でパウロは私達に主は霊である、そして、主は私達にそう語っておられるとしています。

同様に、パウロは、キリストは私達を導いておられ、

もし御父が私達を近くに引き寄せなければ、私たちは誰も神を見られないと語っています。私はまた、誰かのために、飛ばなければなりませんでした。

キリストが私にはっきりと示してきたように私達は神のみを学ばなければならないのです。

それは「ヨハネによる福音書」6章やさらに、「イザヤ書」54章に記されています。

これらのメッセージに十分注意を払いながら、あなたは必ず、神の言葉を読むべきです。

そうすれば、各々の心は神へと導かれるでしょう。

しかし、あなたは、神の言葉を曲解してきました。

私が神にさらに理解することを祈ったとき、聖書の言葉は私のところに速めてきました。すなわち、詩編70篇において、きっぱりとした調子で、神をほめたたえ王座についたダビデは言います。

「主よ、私の若いときから、この地が私に真実をもたらしてきた。」と。

詩編93篇<sup>15)</sup>の、詩編作者がその顔を置いた場

<sup>12)</sup> 「ローマの信徒への手紙」8章26節参照。

<sup>13)</sup> 「コリントの信徒への手紙Ⅰ」2章9～13節参照。

<sup>14)</sup> 「コリントの信徒への手紙Ⅰ」3章16節参照。

<sup>15)</sup> 「詩編」94編12節参照。

所で詠われた、この箇所注意到注意して欲しいのですが。

「主よ、いかに幸いなことでしょう。神ご自身に諭され、あなたの律法を教えていただく人は。」

ここには、人間の無駄話の言葉はありません！その内容がみな、致命的であるあなたの教皇の命令はなんの価値があるのでしょうか？追放と中傷、精神と体に対する天罰、私達の首の周りの絞首刑執行人のわな、あなたの報酬と強欲、それらを必要なものとして教皇は要求します。

あなたはキリストによって、みな、教えられてきたとしていますが、(もし彼の言葉のためにあなたが少し気にしているなら)、あなたは広い世界へ出て行くべきです。

「マタイによる福音書」で、私は真理が広がることがわかりました。

富を得るな、金を得るな。

(私はこのことがあなたを冷たいままにしておくことを知っています。)

神がただ一つ私たちに命じられてきたことは、神が語った聖なる言葉を説き明かすことなのです。

さらに、「申命記」4章と12章で、心から神がその聖なる言葉をばらばらにすることを禁じているかに気付くことでしょう。

すなわち、「何も加えてはならない、何も取り去ってもならない。」とあります。

さて、あなたは、教皇の命令に耐えるのですか？あるいは、難解なスコトゥスに耐えるのですか？

私達はそこに神の言葉をあまり見ることはできません！

偉大な学者でさえ、神が確かに禁じてきた、おしゃべりを作り出しています。

「イザヤ書」30章に書かれています。すなわち、「神の忠告に聞かない者に災いあれ」と。キリストは「人間の戒めを教えとして示し、むなしく私をあがめている<sup>16)</sup>」と言っています。そして、この同じ章でさらに、「神が植えなかったものは、地上から根こそぎしなければならぬ<sup>17)</sup>」と述べています。

<sup>16)</sup> 「マタイによる福音書」15章8節参照。

<sup>17)</sup> 「マタイによる福音書」15章13節参照。

それでは、あなたはどうか、キリストに耳を傾けるのでしょうか？

私達に答えてください、あなたの心を話してください！

目の見えない人が目の見えない人を誤って導いたら、彼らは二人とも穴に落ちることでしょう。

主よ、あわれな者すべてを救い出してください。

私達が彼らと共に面目を失わないように、今、あなたの恵みを受け取りたいのです。

「マタイによる福音書」15章で、神は、目の見えず、かたくなな心の人を置き去りにすることを命じておられます。

父をあなたに近づかせよう。そしてあなたが人間のやり方に逃げださないように。アリストテレスや教皇の命令に逃げこまないように。宣教において、神の言葉にあいまいな言葉で傷つけるような作り話や新たに付け加えるようなことに、神は全く、受け付けません。あなたが長く積み重ねてきたものを神は決して我慢をしてくれないでしょう。

すなわち、あなたのように、富者も貧者も共にだますようなことは、だれもできません。強欲で、恥ずべきで、先頭に立って自分の思うままにどンドン事を運び、気取って歩き、且つ暮らしは豊かである時こそ、あえて、精神的な名前を求めなさい。

偽善的な市場では、神の言葉は安く細々したものを好みます。

これを聞きなさい。パウロは、「コリントの信徒への手紙Ⅱ」2章で次のように真実を述べています。

キリスト信者は一生で一ペニーをもらうことを目指している多くの者とは似ていないと・・・。神から出たキリストにあって「強欲のためになされたものはない」とパウロは語ります。神の御前で真に話す前に、正直にそれぞれの言葉を話さなさい。

もし、同様なことをあなたがすることができるなら、心から喜んで私達は、あなたに従います。

しかし、あなたが私たちを皆、道に迷わせているのです。

だから、さあ、今日、石が叫びだす！  
 あなたが神の言葉を圧迫している間、恥じなさい！  
 悪魔のゲームに魂を引き渡すくらいなら、家で話すのをやめることも、通りで話すことを止める気にもなりません。  
 神が私に恵みを与えてくださる限り、私は、面と向き合って、私の隣人に話したいのです。というのは、パウロは私に隣人と話すことを禁じてこなかったのです。神の言葉を自由に語れないなんて、悲しいことです。  
 余計な口出しを控えなさい、愛するヨハネス！この例から、学ぼうにしてください。  
 ご存じの通り、「民数記」において、神は人間の声をもって、ロバに真実を語らせ、賢明な人、バラムを正すように、バラムのロバがなしたことを学びなさい。  
 バラムはロバに強く拍車を入れ、むちをふりますが、他の処置をとりませんでした。それは、今日、人が言っていることから十分、分かることです。  
 あなたは本当に笑い種になると思われる神の問題に、反対しないで闘いなさい。  
 「ユディト記」8章<sup>18)</sup>において、聖書自体が私に説明していることがわかります。  
 すなわち、ホロフェルネス軍は戦車や馬と共にいて戦争のために武装していました。人々の心は苦しみ、元気がなく、神の荘厳な誓いを信じていませんでした。  
 この数日以内に、神は彼らの混乱した精神を自由にしなければなりませんでした。  
 しかし、所定の期日以内に、彼らがホロフェルネス軍に寝返るのに神が救いの手を差し伸べてくださらなければ、主の民とは、ホロフェルネスの命令に屈服することを約束させられました。  
 ユディトがこれを聞いたとき、祭司たちに直ちに去るように命じ、昔から、今のように、大きな苦しみにある時に、神は彼らの父祖たちを導いてきたことを話し、聖書的な証明も十分しました。  
 彼女はまた、統治者たちに、厳しく尋問しま

した。そして、「あなた方は何をしていたのですか？」と大胆に言いました。  
 彼女は非常な苦しみの中にいる彼らの心を再び高めました。  
 アブラハム、イサク、ヤコブもみな、大きな苦しみにしばしば、耐えなければなりませんでした。  
 そして、また、モーセにも、彼らの信仰、彼らの興味がいかに本物であるかを見るために主は試みられました。彼らが理解できるまで。試練は、しばしば苛酷であります、しかし、彼らの罪はずっと大きいのです。  
 忍耐することはその点で彼らを導きます。  
 というのは、神が私達に神のむちをおくったことは私達には大いに良いことであるのです。ユディトは人々の安寧のため、命がけの覚悟をしました。  
 11章から私は、神が女性の手に託したと、理解しました。  
 ホロフェルネスによって、彼女は勇敢にも立ち、神に涙ながらに黙って祈りました。  
 そう、彼女は彼のベッドの前に立ち、そして神に心からの訴えをしました。  
 イスラエルの神である主が、私を強め、私が信仰において始め、そして希望した計画を主を通して、完全に遂行できますよう、この時、しっかりと決意させてくださいますようにと祈ったのです。  
 彼女は神に全く信頼を置いていました。  
 だから、神は彼女の手に力を与え、そして彼女はホロフェルネスを滅ぼしたのです。  
 だれがこれまで、彼女が彼の頭をはねた、この行為を信じたのでしょうか？  
 すばらしい男と呼んでいた彼はこうして笑い者になったのです。  
 もしあなたが気になるのなら、「士師記」に多くの同様なことが見られます。  
 ほぼ同様な人物は、イスラエルの民を導くため、同様に彼らを裁き、支配するために神から送られた預言者、デボラがいます。  
 もしあなたがその時、生きていたら、賢明な人よ、あなたは、神が、哀れな女の行動によって、神に彼の計画を実行なさることを疑いもなく、止めようとしたことでしょう。

<sup>18)</sup> 「ユディト記」8章9～22節を参照。

あなたは女性たちをとおして神の勝利にきつと耐えることはできなかつたのでしょうか。というのは、シセラはまた、一人の女性の手によって滅びることになりました。その女性の名前は、ヤエルでした。だから、あなたの怒りを燃え上がらせてはならないのです。神はあなたのさげすみを滅ぼそうとして、ふたたび、女性たちを立ち上がらせるのです。女性たちのグループによってあなたは神の天罰に非常に苦しめられるのです。というのは、あなたには、一人の学者のふるまいについて、とやかくいう価値はないのです。神は、小さな子供のようにであったあなたにあげけりを注いできました。たくさんうそで綴られたあなたの詩の中にこのことははっきりと見ることができます。こうして、私はあなたが馬鹿げたことを書いているので驚きました。丸一年、あなたは私が書いたことに対する応答を考えて、過ごしてきたのでしょうか。あなたは大股で来ればよいのです。神が月桂樹の王冠をかぶって王位につかれるということを信じて。地上の誰をも考えていない詩を書き始めて、賢明にも人々を中傷し、嘘をつくとき、知恵の神がすべてを見つけられます。続くその詩に見られるように、神の知恵はなにか虚しいものになっていますが。あなたはキリスト者をだまらせようと大学の式服式帽で走っているのです。ただ必要だと思ったら、私はすぐに、詩を書きましょう。私はめったに大学で詩の形式(での論争<sup>19)</sup>)を見ませんでした。しかし、あなたの詩の例示が私をあおって、私ははじめて詩を書きました。それで、あなたは自分を最も賢い者だと思い、自分勝手にご自身をほめて歌うことを考えないことになるでしょう。あなたは神の言葉をすべて、以前に読んできたと思い、さらに神のことを修得したとき

19) 拙者が挿入したことば。

思っています。そうして、あなたの他に、だれもあなたが理解できることを取り上げる者もいません。親愛なるヨハネスよ、解釈を誤らないで下さい。「箴言」26章に、賢者が忠告しています。「単純なたくらみをもって愚かな者を論駁します。神が彼を賢い者だと妄想しないように。」私はふたたび、あなたが公の場に出てくること求めます。そうすれば、私はあなたの男らしい賢明さを見ることができるといえるでしょう。そして、公に証明してください。もしルターの言葉がそして、フリップ・メラントニオンについても、異端であるというのなら、両者とも、あなたの中傷的な言葉が宣言しているような、罪の扉を開けているという手がかりを一つも私は見ていません。彼らがもう神の言葉をはっきりと書かない前に私が言ってきたことをもう一度、言います。あなたを決して害さなかつたキリスト信者をなぜ、罵倒するのですか？あなたが怒ってどんなに軽蔑しようが、私は神の言葉を通して生まれ変わりました。あなたは彼らを一そして他の人たちを一誹謗するけれども、彼らの教えは私の心に残っているのです！私は前に言いましたが、神のものである彼らと、主は、永遠に共にあるのです。数々の同労者をもって彼らは、パウロやアポロが昔そうしたように<sup>20)</sup>、大地に種を蒔き、入念に水をやっているのです。成長させてくださるのは神です。さらに、あなたがどんなに頭をひどく悩まそうとも、収穫を阻止するものはなにもないのです。あなたはご自分を非常に立派だと思って、神に反対して戦っていますが・・・あなたの空っぽの言葉は、その力により直ちに散らされ、煙のように消えます。ワックスが煙の中で融けるように、あなたの冒険は終わります。聖霊の助けをもってダビデが創った詩編77編を、あなた自身のために読み、そして私が言

20) 「コリントの信徒への手紙Ⅰ」3章6節参照。

うことが真実であることを知りなさい。  
死すべき者に良いものをあなたはずっと勉強し、数々の魂を悪魔の入り口に導いてきたのです。

あなたの書き物の中に、そして教皇の教令の中にあるように、あなたはあまりにも小さな希望をもってこられたのです。

というのは、私達が人間の勇気に託した時、私たちは神の聖なる名誉を傷つけることになるからです。

もし、彼らが神の良き言葉を私に指し示して教えてくれさえすれば、私は、私が気付けばいつでも、従順な子供のように従うでしょう。

「エレミヤ書」2章で、私は主が不平を言い、ため息をつくのを聞きました。すなわち、「ああ、彼らは私を捨てた、生ける水を井戸からこぼして。<sup>21)</sup>」と。

他のところでも、エレミヤはまた、「神自身の口から、彼は私にはっきりと言う。」と。これは17章に見られます。

彼は再び、同じテーマについて述べています。「主よ、あなたを捨てる者は皆、辱めを受ける。生きた水が流れているところから、彼らの動脈が切れ、彼らの渇きを和らげようとした者は皆、はずかしめられる。」と。

神はさらに言われます。「もし、あなたが私をいやすなら、私は確実に癒されよう。」と。エレミヤは、神が上記で述べたことをすべて、彼の言葉で私に語るのです。

「死すべき人に信頼する者は呪われる。そして、主に立てられる人は祝福される。<sup>22)</sup>」と。これはまさに、マルティンが多くほかの学識のある人と共に行ってきたことです。

神の言葉の下、私もまた、必ず、つまずく石のことを思い、謙虚でありたいです。

誰か他の人の信仰が何であるかを見るために、まただれかが、必ず、落ちることを見るために周りを見る必要がありません。

私はそれを通して神の教えをすべて保ってきたいのです。

そして、耳の聞こえない人のように、まだ、

あなたは、私達が人間の名誉の中に私達の信仰を入れ、

そして、マルティン・ルターに基づいていると主張しています。

だが、人は必ず欺きます。

私達は「ヨハネの手紙」のように、神から出た霊かどうか確かめるのです。

また、アルサシウスの事件をあなたの問題に引きずり込むとは、なんと忌まわしい行為であったことでしょうか。

私は語ったことがないルターやメランヒトンについて、神により、私はこの二人に今まで会ったことはないかと率直に告白できます。

悪にあなたの心が苛まれているとき、あながなにか良いことを言う期待をもてるでしょうか？

「マタイによる福音書」12章に「もし神のために苦しむなら、私はなんの辛さも感じない。<sup>23)</sup>」とあります。もし、あなたが単に私をはずかしめたかったのなら、私は答えるのではなく、キリスト者は従順であることを示し、あなたにもう一方の頬を向けて構わなかったのに。

しかし、あなたは神の言葉を害そうとしたので、私はあなたのしている、何の役にも立たない陰府の力に強く抵抗したいのです。

神ご自身の口からの言葉がどっと押し寄せ、あなたを打ちのめし、あなたをさげすみます。神はあなたが神の民にもたらした苦しみや恥を無視なさいます。

聖書は語ります。すなわち、「千人を追い払うであろう」と、詩編3篇でダビデが言った言葉に注意して下さい。「千の敵も恐れない<sup>24)</sup>」そして、「我等の主だけが唯一の神であり、神はあなたを笑い者にするであろう。」と。

預言者の語る中で、神があなたを考慮して宣言しています。すなわち、

「彼らが禁じている間、彼らが中傷している間、神は祝福し、神はほめる。」と。

詩編108篇を読みなさい。すなわち、神は神に敵対する者すべてをいかに訓練されている

21) 「エレミヤ書」2章13節参照。

22) 「エレミヤ書」17章5～7節参照。

23) 「マタイによる福音書」12章34節参照。

24) 「詩編」3編6節参照。

かを示しています。敵対する者を奴隷にし、逃亡させ、彼らの右に悪魔を置きます。しっかりとこの預言を見なさい。というのは、まさにあなたを襲うことを、見るでしょうから！あなたは死者にご馳走をしなければならないと思います。というのは、ねたみがあなたを完全に酔わせていたからです。なぜなら、神に敵対する者に快く報いる者がいないので、あなたは大声で「異端者」と叫んでいるのを私は頻繁に聞いてきました。あなたが持っている羊毛があなたのものである限り、あなたは羊を刈っている人のことを気にも留めていません。これらの横柄な人はすべて、説教壇から私をがぶりと飲み込むような威嚇を繰り返します！しかし、私がある人に面と向かって会った時、私が聖書について聞いたのはほんの少しでした。もし、あなたが非常に無知だと抗議なさるのなら・・・その時、あなたの知恵を私に堂々と分けてください。しかし、ひとつのスピンドルはあなたが提供するものです。教えごとに、それはあなたが申し出るものです。このすばらしい文章の名人は、私に家事の義務を教えてくださいました！毎日、行っている家事を、どうして、私が忘れることができましょう？祈ってくださるのでしょうか？キリストが私に語る一私は御声を聞く一神の言葉を聞くことは、最も良い選択です。私の主なる神よ、私のところに来て、お話しください。私のたった一つの望みはあなたの言葉を聞くことです。しかし、人々に真実を避けるように強いる、あなたのような人から、どうやって私は学ぶことができるのでしょうか？あなたは、私達はいかに、従順に奉仕をすべきか、そして、いかに、夫を尊重すべきか、自由な助言をくださいました。これ以外のものは、私を身もだえさせるでしょう！

夫が始終、奉仕しなさいとか、常に喜んで従いなさいという指示を私の心も魂も忌み嫌います。しかし、夫が不平の言葉を何も言わなかったことで、私は安心しています。神が夫に対しての振る舞い方を私に教えてくださいますように。しかし、神の言葉から、夫が私を強いて、従わせるとか、あるいは力で抑えたいというのなら、（そのことはあなたの心配事のようにありませんが）マタイによる福音書10章<sup>25</sup>の中にあります。すなわち、私達は子供も、家も、持っているものすべてを直ちに返さなければならないのです。御子以上に息子や娘を愛する者は、御子を愛するにふさわしくない者と呼ばれます。もし私が神ご自身の言葉を与えるよりも、むしろ、背くのならば、はい、私は喜んで命を捨てます。私は臆病な恐れから命を救うことよりも、主なる神を愛します。最後の審判で、私はキリストに軽蔑されたくありません。山羊や子山羊が陣取っているキリストの左側に置かれたくありません。私は右の扉を絶対に見たいのです。というのは、キリストは「私を信じる者は、最後の審判から、全く自由になり、そして私とともに死から永遠の命へ移っていく」と言われているからです。これは、「ヨハネによる福音書」3章と5章でこのことが記されているのを見つけられます。私は神が私に留まり、そして、私の最後に、このことが起こることを希望したいのです。もう一度言いますが、あなたはあなたが聞いた私に関する馬鹿げたうわさ話をもってやって来ました。私の教えは、あなたがパラティン氏と呼んでいる人からのものとなっています。私はあなたがひどく中傷してきた、あなたの話の中にはっきりと私に説明してくださいま

<sup>25</sup> 「マタイによる福音書」10章35～37節参照。

した、この人の名前を知りません。  
道化師の鈴付き帽をかぶってあなたは、たくさんの善良な女性たちの名誉をはずかしくてこられました。  
あふれるほどの悪態と、事実無根の話をもって私を中傷しています。  
実に私はそのようなぞんざいな告発に対して、私の君主に不平を書きました。  
君主たちがあなたの不正行為を知ったときのため、あなたは心配すべきです。  
いかに人々を惑わしたことか、あなたの邪悪さは明白でしょう。  
まもなく、君主達は自分たちの危険を感じて、あなたを捕らえるでしょう？それとも悪魔を！  
私はまた、喜びを持って、君主たちが最近、聖書を読み始めたことを聞きました。  
彼らに何が正しいか真実かを示すため、神が聖霊を送って、彼らが神自身の言葉を受け入れるように、神の恵みによってお導きくださることを望みます。  
あなたの悪態は私を苦しめることはできません。  
なぜなら、それは私の心を再び、元気付けられているからです。  
キリストは言います。「私のためにあなたがたが苦しむとき、あなた方に対して、人々がやじを飛ばし、あなたがたを侮辱し、彼らの中から追い払われる時、それから、人の子のためにあなた方の名前をののしられ続ける時、あなたがたは豊かに祝福されることでしょう。この時をうれしく思いなさい、喜びなさい！天において、あなた方の名前は選ばれることでしょう。  
あざ笑うあなた方に災いあれ！  
というのは、その時、あなたがたは泣いたり、悲しんだりするであろうからです。  
すべての人に誉められるあなた方に災いあれ！神を冒瀆する者に災いあれ。」と。  
神の荘厳な審判席におられる神の前では、あなた方の激怒は問題にはなりません。  
これは「ルカによる福音書」6章<sup>26)</sup>で確証されます。  
だから、あなたのやり方を修正し、じっくり

と考えなさい。  
今や、そうすることは、あなたが公の場に現れるまで、大切なことです。  
私のランツフトのヨハネスさん、バラムのロバから学びなさい。  
神は望まれます。別の詩があとに続きますように！

旧姓A. V. G. フォン・シュタウフェン

<sup>26)</sup> 「ルカによる福音書」6章21～25節参照。

